

平成 26 年政策評価書

千葉県警察重点目標	県民のために心をこめてしっかり考え、行動する警察
施 策	被害者等の心情に配慮した各種支援施策の着実な推進
施 策 目 標	犯罪被害者等の心情に配慮し、関係機関・団体等と連携した総合的な支援活動の推進
施策設定の背景	警察における被害者支援をより一層充実させるため、県は平成24年1月12日「犯罪被害者支援要綱」を制定し、支援施策（被害者支援要員制度、公費負担制度、カウンセリング制度等）の更なる充実を図っていることから、制度の迅速・的確な運用、関係機関・団体との連携強化、広報啓発活動を一層強化する必要があります。
実 施 項 目 1	被害者支援施策の迅速・的確な運用
推 進 結 果 1	<ol style="list-style-type: none"> 1 事件発生直後から各警察署の被害者支援要員を運用し、殺人事件を始めとした凶悪事件や交通事故の被害者等に対して初期的支援を推進しました。 2 身体犯被害者に対する診断書料、性犯罪被害者に対する緊急避妊措置料等の公費負担制度を的確に運用し、被害者等の経済的負担の軽減を図りました。 3 千葉県警察犯罪被害カウンセラーチームを積極的に運用し、被害者等に対するカウンセリングを行い精神的ケアを推進しました。 4 犯罪被害給付制度を適切に運用し、裁定手続きを迅速に進め、被害者の経済的負担の早期軽減を図りました。
実 施 項 目 2	関係機関、民間被害者支援団体との連携強化
推 進 結 果 2	<ol style="list-style-type: none"> 1 千葉県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」として指定を受ける犯罪被害者支援センターと一層の連携強化を図り、被害者の同意に基づく被害者情報の提供や付添支援の実施など、官民一体となった支援活動を推進しました。 2 千葉県内において、性犯罪・性暴力の被害者を支援する任意団体として「千葉性暴力被害支援センターちさと」が発足し、被害者への治療や精神的ケア、警察との連携による支援活動を一箇所で行うワンストップ支援活動を推進しました。 3 関係機関・団体により構成された「犯罪による被害者等に対する支援部会」や「警察署犯罪被害者支援連絡協議会」を開催し、大規模な事件・事故が発生した際には、各会員と警察が連携を図りながら被害者の支援を推進していくことを再確認しました。 4 犯罪被害者週間（毎年11月25日～12月1日）にあわせ、11月を犯罪被害者支援活動に関する広報重点月間に指定し、犯罪被害者支援センターや「警察署犯罪被害者支援連絡協議会」会員、更には、社会参加活動の一環として参加した大学生等

と協同し、県内主要駅や各種イベント会場等において、被害者支援に関する情報を盛り込んだリーフレット等を配布したほか、年間を通して、関係機関、団体の相談窓口を掲載したポスター、パンフレットを警察署等の窓口に掲出・備え付けることにより、広く県民に被害者支援の重要性を呼び掛ける広報啓発活動を推進しました。

実施項目 3

被害者支援への理解と支援意識の高揚を図る施策の推進

推進結果 3

- 1 中学校・高校・大学等において、犯罪被害者遺族等による講演会を開催し、犯罪被害者支援に対する理解の増進を図るとともに、犯罪の予防や規範意識の向上を図り、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくりの気運の醸成に努めました。
- 2 12月7日千葉県教育会館大ホールにおいて、県、犯罪被害者支援センター共催、千葉県警察が後援により、犯罪被害者週間「千葉県民のつどい」を開催し、広く県民に向けて犯罪被害に苦しむ被害者等の現状を理解してもらうとともに、社会全体で被害者等を支援する社会づくりの気運の醸成を図り、被害者支援意識の高揚に努めました。
 その際、被害者支援センターの設立10周年記念式典が行われ、被害者支援センター及び役員に対して千葉県警察本部長から感謝状が、被害者支援センターの相談員などには、千葉県警察本部長と被害者支援センター理事長の連名の表彰状が贈呈されました。

実績（成果）

- 1 きめ細かな被害者支援の推進
 公益社団法人千葉犯罪被害者支援センター（以下「犯罪被害者支援センター」という。）を始めとした関係機関・団体と緊密な連携を図り、被害者等に対する事件発生直後の初期的支援、カウンセリング、裁判所や病院への付添い、診断書料や性犯罪被害者に対する緊急避妊の費用等の公費負担制度の活用など、被害者のニーズに添ったきめ細かな支援活動を推進しました。
- 2 広報啓発活動の推進
 犯罪被害者支援センターや関係機関・団体と連携して、積極的な被害者支援に関する広報啓発活動を推進しました。

実績（成果）指標

【県民に向けた被害者支援に関する講演、講話の実施状況】

実施日	実施場所	対象
5月15日	松戸東警察署被害者支援連絡協議会	会員
5月28日	柏警察署被害者支援連絡協議会	会員
6月30日	東金市立東金北中学校	中学生
7月4日	市川市立妙典中学校	中学生
7月7日	成田市立下総みどり学園	小中学生
7月10日	秀明八千代高等学校	高校生
7月16日	千葉県立泉高等学校	高校生
7月31日	市川市市民会館	中学・高校生
9月26日	勝浦市立北中学校	中学生

10月 2日	船橋市立船橋高等学校	高校生	
11月18日	船橋東警察署被害者支援連絡協議会	高校生	
11月19日	四街道警察署被害者支援連絡協議会	高校生	
11月27日	我孫子警察署被害者支援連絡協議会	高校生	
12月 3日	我孫子市立我孫子中学校	会 員	
12月11日	船橋市立旭中学校	高校生	
実施回数	15回	受講者総数	約4,000人

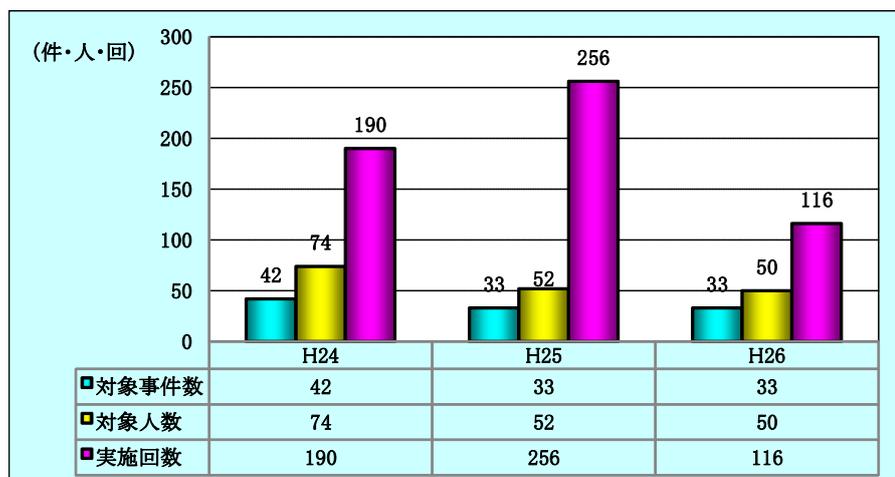
【犯罪被害給付制度の運用状況】

	H24	H25	H26
対象事件（件）	33	19	24
対象人数（人）	41	20	24
支給額（円）	92,659,960	40,762,873	52,916,771

【公費負担制度の運用状況（単位：件）】

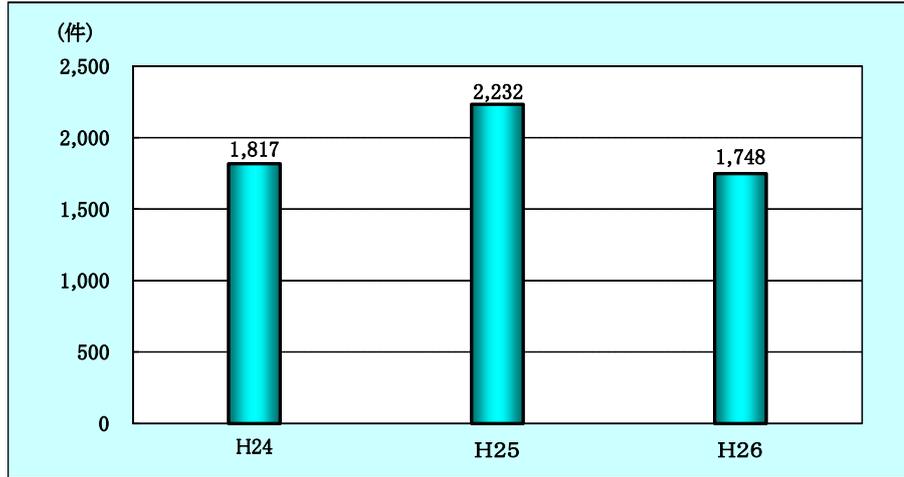
	H24	H25	H26
検 案 料	43	53	57
検 案 書 料	58	57	69
診 断 書 料	114	122	180
初 診 料	59	133	218
緊急避妊措置料	32	33	41
性病検査料	22	20	31
人工妊娠中絶措置	1	0	1
精液等採取謝金	32	30	46
遺 体 搬 送	8	12	14
一 時 宿 泊	12	10	18
合 計	381	470	675

【犯罪被害カウンセラーの運用状況】

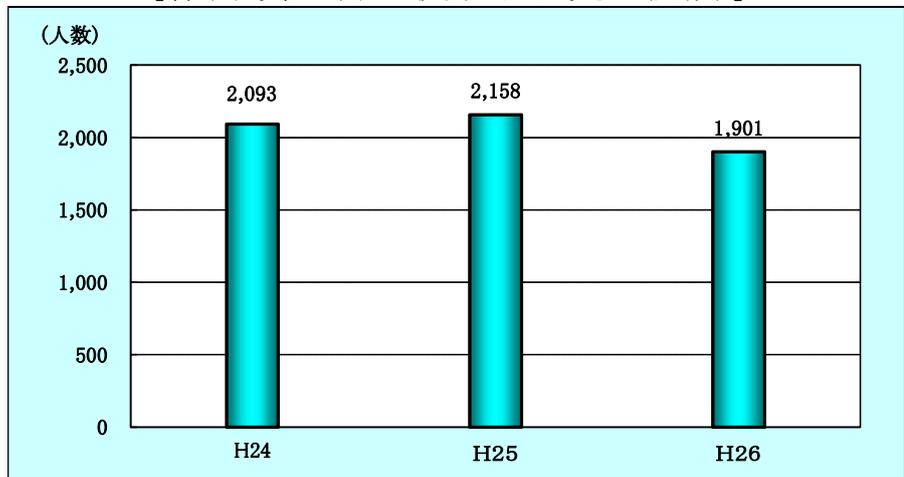


参 考 指 標

【公益社団法人千葉犯罪被害者支援センターの相談受理事件数】



【警察職員に対する教養の実施状況 (人数)】



効 果

関係機関・団体と連携した支援活動や被害者支援センター等の行う広報啓発活動により、社会全体で被害者を支えるという被害者支援に関する意識が高まっています。

今 後 の 課 題
及 び 方 針

精神的苦痛など、様々な苦悩を抱えている被害者の痛みを理解し、適切な対応がなされるよう、被害者支援に従事する職員の更なる知識、対応技能の向上を図るほか、各種支援制度の適切な運用を図っていく必要があります。

既の実施している各種支援施策の迅速的確な運用に努めるとともに、犯罪被害給付制度に基づく給付金の円滑な支給等、被害者等の心情に配慮したきめ細かな被害者支援を推進します。

施 策 主 管 課
政 策 評 価 担 当 課

警務部警務課
警務部警務課